

業を通じて地域貢献

渋川測量設計協会

一般社団法人移行で記念祝賀会



近内代表理事

けるなど、一般社団法人として新たなスタートを切った協会の前途を祝した。

一般社団法人「地域に必要とされる協会」と「地域の活力を生む協会」を掲げながら、業を通じて地域貢献と測量設計や各種調査に伴うアドバイスの速やかな災害支援と各種ボランティア活動の実施に取り組みたい。

阿久津市長は「市民の安全・安心に加え、財産を守るということも非常に大切。最近風水害が多発しており、今後も皆さま方のお力を借りながら市行政を進めていく考え。われわれとともに、この渋川市を支えていた」と呼びかけ、今後の活動目標には「今後の地域貢献に尽力し、」と意気込んだ。



阿久津市長

6月に一般社団法人へ移行した渋川測量設計協会(近内尚志代表理事)は25日、「一般社団法人設立記念祝賀会」をアネーリ渋川で盛大に挙行了。

当日は、来賓として渋川市の阿久津貞司市長、五十嵐研介総務部長、南雲鋭一市議会議員のほか、地元選出の星名建市県議と金子渡県議が臨席。さらに、高崎市測量設計業協同組合の須川浩副理事長も祝意に駆けつけ、

「地域に必要とされる協会」と「地域の活力を生む協会」を掲げながら、業を通じて地域貢献と測量設計や各種調査に伴うアドバイスの速やかな災害支援と各種ボランティア活動の実施に取り組みたい。

阿久津市長は「市民の安全・安心に加え、財産を守るということも非常に大切。最近風水害が多発しており、今後も皆さま方のお力を借りながら市行政を進めていく考え。われわれとともに、この渋川市を支えていた」と呼びかけ、今後の活動目標には「今後の地域貢献に尽力し、」と意気込んだ。



阿久津市長らと交えて記念撮影

不安

国土交通省は、社会資本整備について「不安」と回答して、かという質問に対して

も皆さまと一緒に活力ある地域づくりにまい進していく」と強調した。

星名県議は「皆さまは心から渋川を愛し、市民の地域貢献に資する熱い団体」と称え、金子県議は「測量設計の仕事の重要性は、強く認識しているところ。今後さらなる活躍を」と期待。須川副理事長も「素晴らしい前途を祈念申し上げる」と意気込んだ。

今回の調査結果から、多くの人が社会資本整備の維持・更新の必要性を認識しており、さらに現状のままで維持・更新すればさらに高い数字が出る。東日本大震災をともな約51%が建築後50年を経過する。下水道管渠も22%が50年を超えている。今後は、計画的、戦略的な維持・更新事業が必要が一層必要になる。

国土交通省は、東日本大震災で被災した建設企業

中央の行政・業界

ユース

も高い。東日本大震災をともな約51%が建築後50年を経過する。下水道管渠も22%が50年を超えている。今後は、計画的、戦略的な維持・更新事業が必要が一層必要になる。

国土交通省は、東日本大震災で被災した建設企業



藤井専務理事

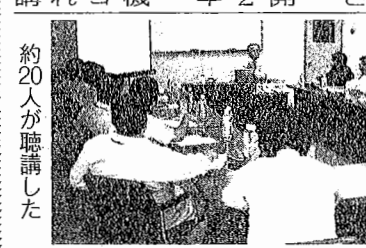
JIS委が研修会開く

群馬県コンクリートブロック事業協同組合(町田錦一郎理事長)のJIS委員会は26日、前橋市内の群馬ブロック会館で研修会を開催し、同委員会の所属企業から約20人が参加し熱心に聴講した。

この研修会は、コンクリートブロック製造機械製作所、第3回がチヨダマシナリーで、いずれも同組合の賛助会員が講師となる。

本年度は計3回の開催を予定しており、第2回は10月、第3回は来年1月を見込んでいる。

講師は第2回が桂機械製作所、第3回がチヨダマシナリーで、いずれも同組合の賛助会員が講師となる。



約20人が聴講した

前々期で審査

国土交通省は、東日本大震災で被災した建設企業